

# 草のみどり

Kusa no Midori

特集

中央大学父母連絡会へようこそ

父母懇談会開催のお知らせ

2023年度卒業式／2024年度入学式

FRONT LINE | 経済学部

あらゆる業界に強い。経済学部生の就職実績

父母のための中大ナビ

2024年度キャンパスカレンダー

FACULTY OF GLOBAL MANAGEMENT

# 世界を人に動かす Vol. 25

企業経営とグローバル経済の先端知識、優れたコミュニケーション能力を養うべく、国際経営学部生は前進を続けています。

## 「国際経営学部で本当に良かった」

これは今、私が心の底から思っていることです。ここにいたから、英語が話せるようになりました。ここにいたから、多様性や価値観の違いを受け入れることができるようになりました。ここにいたから、私は夢にも見た外資系の企業から内定をいただくことができました。これはすべてあの日、国際経営学部への入学



国際経営学部国際経営学科4年  
私立N高等学校(東京都)出身

しもおか しゅん  
下岡 駿

## 日本を飛び出して新たな挑戦 Knowledge into Action

を決意した自分がいいたからです。

こんなにも満足しているこの学部、3年前の私は同じことを思っていたかというところではありませんでした。実を言うと、私は中央大学よりも偏差値の高い大学を志望していました。しかし、その時の私はあまり勉強が得意ではなく、その大学には合格できませんでした。さらに言うと、私はこの国際経営学部も練り上げ合格。なかなかギリギリな受験生時代を送っていました。受験中に散髪に行く余裕がなく伸び切った髪を見て、周りからは落武者と言われた始末でした(笑)。

そんな私に転機が訪れたのは大学2年次、堀真由美教授のゼミに入った頃です。堀先生は、私に多くのチャンスを与えてくれました。副ゼミ長(ゼミ長が留学中のため、代理のゼミ長)としてメンバーをまとめる役割や、2回にわたり台湾での国際学会発表の機会をいただいたこと、プロジェクトを立ち上げたことなどです。このうち国際学会での発表は、これまでの私を大きく変える転換点になっ

たと言っても過言ではないでしょう。

### The 18th&19th International Conference on Knowledge-Based Economy and Global Management

2年次の後期、先生から1本の連絡がありました。「国際学会への参加希望者を募ります」。これに私はすぐに手を挙げました。時期は11月初旬、台湾台南市にある南台科技大学での発表です。聴衆の多くは、現地の教授やヨーロッパをはじめとする世界各国の大学の教授の方々でした。発表者は3人で、論文執筆はゼミ生全員です。私たちは夏頃から準備をはじめ、何度もプレゼンテーションの練習を行いました。結果は



現地学生と



大学発表会場で

大成功！聴衆の方々や、堀先生からも賛辞を頂くことができました。しかし、その裏には多くの困難がありました。

### 新型コロナウイルスによる 海外渡航のブロック

私が2年次だった頃は、まさに新型コロナウイルスが原因で海外への渡航がブロックされている時期でした。多少の緩和はあったものの、10月中旬まで集団での台湾への渡航が許されるかわからないという問題と常に隣り合わせでした。頻繁に外務省のHPをチェックしたり、時にはメールや電話を試みたり、本当に直前まで台湾に行けるのか……、そ



18th International Conference



19th International Conference

な状況でした。そんな中、堀先生から連絡が来ました。「渡航可能です。至急準備を進めてください」。私たちは、うれし反面、焦り反面で急いで準備に取り掛かりました。

### 現地大学での発表

11月の初旬、私たちは日本を離れ主催大学のある台南にいました。空港のある台北から、台南への移動には、台湾高速鐵路（台湾の新幹線）やタクシーを用いました。もちろん現地での言語は英語か中国語です。その道中も欠かさないのはもちろんのこと、発表前日の夜にもゼミ生を集め、彼らの前で発表の直前練習を行いました。アドバイスを取り入れながら、最後まで諦めずに取り組んだことを覚えています。

プレゼン発表当日、今でもあの緊張は忘れられません。多くの聴衆が集まる会場に圧倒されそうな気持ちなだめながら、私たちはオープニングセレモニーを聞きました。お昼

休憩を挟むと、すぐに私たちの発表が始まりました。緊張感に包まれた会場で、始めの挨拶を中国語で行うと会場は大盛り上がり！「大家好！我们是来自日本的中央大学来的学生。很高兴有这次机会和大家交流学习（皆さんこんにちは！私たちは日本の中央大学からきた学生です。このように皆さまと交流し、研究を発表できる機会が与えられたことを誇らしく思います）」。少しか緊張がほぐれた気がしました。そこからの発表は、約15分にわたりました。地獄のように長く感じた発表でしたが、終わってみると大きな達成感と開放感に包まれました。また、現地学生や教授の方々からも多くの賛辞を頂くことができました。これまでの努力が報われた瞬間でした。

### 国際学会発表を通じての学び

私は大学に入るまで、英語を話すことはおろか、聞き取ることさえままなりませんでした。しかし、この

ように大学での学びを実際の行動に活かせることができたのは、本当に良い経験でした。この機会を通じて、私はたゆまぬ努力を持って物事に取り組みることの大切さと自信、そして、多様性を受け入れることの難しさと重要性を改めて認識することができました。まだまだ未熟な私ですが、台湾での発表が立派な大人になる第

一歩になったことは間違いありません。このような貴重な機会を提供してくださった堀先生、そして台湾渡航を全力でサポートしてくださった事務室の方々から敬意と感謝を伝えたいと思います。最後に言えますが、今では自身を持つて言えます。

「国際経営学部で本当に良かった」

## 国際経営学部だより

# 将来につながる能力を身につけよう

シング, マヘンデラ 国際経営学部准教授

近年、これまで大きな成功を収めてきた組織の多くは、外部環境の変化の影響を受け事業の継続が困難になっています。これらの組織は、国際経営、進化するテクノロジーを活用するために必要なスキルや能力が不足しています。そして、多くの新規事業やベンチャー企業は、進化するデジタルテクノロジーを活用して革新的なビジネスを生み出していることが多いです。今の時代で成功するには、業界関係なく、進化するデジタルテクノロジーに関して少なくともある程度の教育を受け、知識を持つことが重要です。私のゼミでは、デジタルビジネス、Eコマース、経営戦略、国際経営に関連するトピックを取り上げています。私は情報システムの基礎、Eコマース、データ管理、デジタルマーケティング、ソーシャルメディア、AI、プロジェクト管理等のさまざまなトピックをカバーする教科書を執筆し、ゼミで使用しています。また毎学期、業界からゲストスピーカーをお招きしています。過去には、マイクロソフト、アマゾン、コカ・コーラ、日立、富士通、アクセンチュア、SAP等の企業からゲストスピーカーが登壇しました。

国際経営学部は中央大学では比較的新しい学部

で、今年2期生が卒業しました。1期生と2期生の卒業生のうち、私のゼミ生はデロイトコンサルティング(3名)、IBMコンサルティング、PwCコンサルティング、アマゾン、SAP(2名)、ANA、JAL、キヤノン、みずほ銀行等の大企業から内定を獲得することができました。また1名は東京工業大学の大学院に進学しました。グローバル組織で働くために必要なさまざまなスキル、たとえば、英語、コミュニケーションスキル、論理的思考力、プレゼンテーションスキル、ディスカッションスキル、レポート作成等を学生が身につけることができるようサポートしています。本学部の学生が素晴らしい人間となり、社会人として成功することを祈念しています。



卒業時のゼミ1期生